

バグダッド日誌(6月19日)

○マリキ首相、ムサンナ県治安権限の移譲を発表

がロイターが発表したのをいち早くインターネットで見つけ、報告してくれた。早速日本コンテナのテレビをBBCに変えたが確認できず、日本時間の夜7時のNHKニュースで初めて確認できた。バグダッド連絡班一同気を引き締めてニュースを見ながら、今まで以上に気を引き締め、抜かりのないように業務しようと皆で誓い合った。

○コインを眺めながら...

米軍将兵は自分の所属部隊のコインを常に携帯し、バーなどの盛り場で挨拶する際には所属部隊のコインをテーブルの上に出して自己紹介代わりにするそうである。この時にコインを忘れた人は、無粋だとして全ての勘定を支払わされるそうだ。

バグダッドにおいても少なからずコインを貰ったり、渡したりする機会がある。コインを渡す時には基本的なルールがあり、「親友関係」になった時や「本当にお世話になった時」に初めて渡す。つまり、初対面の方に挨拶代わりに渡すというのではなく、「親友となり、お前は自分の部隊の同僚と変わらず気が置けない。」または、「お世話になった。お前は俺達の仲間だ。」と認識して渡すものである。

日本からサマーワへ高官が訪問する際、色々な部署にお世話になる。高官の訪問が滞りなく終わってから、「日本からの高官訪問を、あなたのお陰で無事終了できました。有り難う。」とコインを渡すと、渡された方も「自分の仕事が役にたった。」と認識して本当に喜んでくれる。また任務終了を間近に控えたコアリションの親友に「お前は俺の一生の友人だ!」とコインを渡すと、渡された方も「日本隊の友人」となれたことを誇りに思ってくれる。これらコインは出国前に業務支援隊1科が準備してくださり、そのお陰で業務が円滑に実施できている。また9次群、10次群のコインも追加で送っていただき、お世話になった方々に不義理とならないで居られ、感謝している。

我々バグダッド連絡班も「仕事」、「人間関係」を通じて少なからずコインを貰うことが出来た。一個一個に思い出があり、コインを眺めながら「今までしてきた仕事」や「友人」の顔を思い出し、また誇りに思うことができる。残された期間、「コイン」を渡したり、貰ったりできる「友人」をつくり、感謝される「仕事」を引き続き実施していきたい。



バスラLO日々業務報告(6月19日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 (警戒態勢) :
2 特記事項	(1) (2)
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 航空輸送調整等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) 航空輸送調整等
5 その他(備考)	